

サポートルームだより

2024年11月30日No.8
町田市立南成瀬小学校
サポートルーム拠点校
校長 吉成美紀
サポートルーム担当

12月になり、寒さが厳しくなる季節になりました。この時期は、風邪を引きやすく、体調を崩しやすいので、予防が大切です。子供たちに「手を洗ってね。」と伝えると、水に手を付けるだけだったり、濡れた手の水を弾いて遊んだりしている様子が見られます。そこで、「石鹸をつけて洗うよ」「洗った後はハンカチで拭くんだよ」のように明確に伝えることで、子供たちは望ましい方法で手を洗うことができます。具体的に指示を出すことは大切だと日々感じています。

2学期の指導は12月6日まで、月曜日グループの指導は16日までです。今学期も残りわずかですが、よろしくお願ひいたします。



今後の主な行事予定

12月6日(金)	サポートルーム指導終了
※月曜日は祝日などで指導回数が少なかったため、12月16日(月)まで指導します。	
1月14日(火)	3学期指導始
3月3日(月)～3月18日(火)	サポートルーム個人面談期間
3月10日(月)	3学期指導終 ※予定は変更になることがあります。

具体的な指示のすすめ

「帰りの準備をしてね。」と伝えても、なかなか準備に着手できないお子さんがいます。「帰りの準備」の中には、ランドセルを持ってくる、教科書をランドセルに入れる、持ち帰る体操着を持ってくる、水筒をとる…などの多くのタスクが含まれています。優先順位をつけることができなかつたり、何から手を付けたらいいのかが分からなかつたりするお子さんも多いです。

「まずランドセルを持ってきてね。」「次は…」のように一つ一つ伝えることで、今すべきことが分かり、お子さんも動きやすくなります。

ご家庭でも、一度にいくつかの指示を伝えるよりも、「お風呂に入ってね。」「次は歯を磨いてね。」と一指示一動作で伝えてみてください。きっとお子さんも動きやすくなると思います。

中学校サポートルーム説明会から

サポートルーム説明会の開催にあたり、ご理解とご協力ありがとうございました。初めての試みではありましたが、とても有意義な場にすることができました。内容を一部ご紹介します。

中学校サポートルーム 個別学習では・・・

- 失敗した時に「良い経験をした。」と捉えるように、ネガティブな事象を別の角度から捉える“リフレーミング”の学習を通して、自己理解や自己コントロールの方法を学びます。
- 中学生になると、より対人関係が複雑化します。個別学習では、相談時間を設け、悩みや困っていることを相談しているお子さんもいます。
- Chromebookを活用して、聞く・読む・書くなど、自分に合った方法で学習をしています。

小集団学習では・・・

- クロムブックを使った調べ学習を通して、友達と意見交換をして学び合います。
- 複数人で協力しながら課題を仕上げていく活動を行っています。
- 中学校でも小学校と同様、微細運動や粗大運動を行っています。
- “人にやさしくなるゲーム”などを活用し、優しい声かけの方法を学びます。

合理的配慮の一例

- 週に一回しかない実技科目などの授業の裏にはサポートルームの授業を入れないように時間割を設定します。
- サポートルームの授業とテストや行事等が重なったときは、テストや行事等を優先しても良いことになっています。
- 抜けた授業のノートなどは、学校でコピーをとっても良いことになっています。
- 必要があれば、生徒に合わせて板書の撮影、テストの際のルビふりを行っています。
- 社会に出た時の自立を見通した指導を行っています。

中学校サポートルームの先生からメッセージ

中学校に入り、「やはりサポートルームにつなごう。」と思っても、手続きのタイミングが合わず、3学期から、または2年生の4月から指導開始となることもあり、入級が遅くなってしまふようです。中学校サポートルームに中学校入学時から利用させるか迷った場合は、「様子を見よう」ではなく、ぜひサポートルームへつないでください。